

平成経済の回顧と令和経済の課題

大正大学地域創生学部教授
小^こ峰^{みね}隆^{たか}夫^お

- *平成経済を振り返る意味
- *渦中において気づかなかったバブル
- *充満したバブル潰しを求める空気
- *なぜ早期の対策は打ち難いのか
- *デフレへの対応が遅れた理由
- *改革の後の検証をしない
- *小泉改革とは何だったのか
- *民主党政権失敗の原因
- *民意と政策のギャップはなぜ生まれるか
- *輿論と世論の区別が無くなってしまった



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日はおなじみの小峰隆夫先生においていただきました。東京大学を出られて、経済企画庁に入られ、その後、経済研究所長、それから法政大学を経て、現在大正大学で教鞭をとっております。

経済のオーソドックスな話は結構間があいておりました。今日は平成を振り返り、令和の時代の日本経済についてどういうふうに考えたらいいかじつくり伺えると思います。最近本を出しになったので、今日お話を伺ってご興味のある方はぜひ書店でお求めいただければと思います。それでは小峰先生よろしく願いたします。（拍手）

平成経済を振り返る意味

小峰 皆さんこんにちは。本日はお招きをいただきましてありがとうございます。大正大学の小峰と申します。どうぞよろしく願いたします。

今日は「平成経済の回顧と令和経済の課題」のお話をいたします。今ご紹介いただきましたが、『平成の経済』（註 日本経済新聞出版社）という本を最近出版いたしました。その中身に基づいてお話しいたします。平成が終わるに当たって平成経済をまとめる本を書いてくれという注文を受けて時系列順に書いていったんですが、講演などでこの本のお話をしていらっしゃるうちに私自身本当は何が書きたかったかがようやくわかっ